

極
秘

文書課長
公信案

別紙

文書課發送	昭和五年八月廿九日	清書	(甲) 號用紙
主 管	亞細亞局長	正(原稿) 福田 (淨書)	
機密合	一四二號	五年八月廿九日 附	附屬書 通
受信	在奉天省外務大臣	發信	
人名	在蘇聯在哈爾濱交涉處	人名	在奉天省外務大臣
件名	セメヨノフノセイシナニ		
	開立件		
公信案	昭和五年八月廿九日	日附在奉天外國館奉天(往) 機第一四二號寫並附屬書寫	
外務省	九月五日前着		

御參考ノ爲別紙送付ス

電信課長
昭和五 一三〇八九 暗 齊齊哈爾

大臣 欬 一
次官 大臣 欼 一
九月五日前着
外務省
外務省

記録件名	セイシナニ
本省	九月五日前着
清水平事	

028

0305

寫送先

亞細亞
米歐
通商
條約
情報
文化
人事
文書
會計

(分類 A.2.0.0.4/A)

外務省

哈爾賓奉天宛亞一機密合第一一四一號貴信ニ關シ玉外交主任ハ一日
小官ニ對シ當地蘇聯領事ハ「バルチサン」ノ取締ニ關シ數日前長文
ノ書面ヲ省政府ニ送り來レリ同書面中ニ「バ」ハ「セメヨノフ」ト
關係アリ「セ」ノ背後ニハ第三國アリト述ヘ暗ニ日本カ「セ」ヲ通
シ「バ」ニ援助ヲ與ヘ居ルカ如クニ記載シアリト語レリ
奉天、哈爾賓、長春、滿洲里、鄭家屯へ轉電セリ

歐米局第一課

秘

機密第九三五號

昭和五年九月四日

亞細亞局

第一課

昭和五年九月拾日 撰發

在 哈 爾 賓

元

外務大臣男爵 常 原 喜 重 郎 殿



特務機關情報ニ關スル件

八月二十九日附亞一機密台第一一四一號貴信ヲ以テ「セメヨノフ」
ノ蒙古進出計畫ニ關スル當地特務機關澤田大佐被陸軍次官宛電報寫
御送附有之尚斯種情報澤田大佐ヨリ直接入手シアラハ爾後更メア送
附セサルニ付何分ノ議報告スヘキ旨御來示ノ趣敬承然ルニ本件電報

BII

030

内容ニ關シテハ澤田大佐ヨリ何等話無カリシニヨリ同大佐ノ注意ヲ
喚起セル處今後ハ努メテ寫ヲ送附スヘキ旨約束シテ
尙當館ト特務機關、滬鐵、内務省派遣員及朝鮮總督府派遣員同ニハ
隔意ナキ情報交換ノ約成リ居ルモ時々約外ノ行爲アルニヨリ重要問
題ニ關シ當館情報ト才眉セルカ或ハ當館ニ於テ承知セサル檢察知サ
ルル他方面情報ハ其寫當方へ御送附相成様致度シ

本信寫送附先

在奉天、長春、齊々哈爾
在瀋洲里、鄭家屯各總領事領事

0306

REEL No. A-0335

アジア歴史資料センター

亞細亞局
第一課
機密公第六四七號

昭和五年九月五日

在奉天

總領事代理 森 島 守 人



031

巴境

歐美易

外務大臣男爵 幣原喜重郎殿

「セミヨノフ」ノ蒙古進出計畫情報ニ關スル件

八月二十九日附亞一機密合第一一四一號貴信ニ關シ哈爾賓其他ノ地點ニ在ル特務機關ノ情報ハ全部當地特務機關ニ通報セラルル次第ニハ非ル趣ナルヲ以テ今後共コノ種情報參謀本部ヨリ御入手ノ場合ハ

在奉天日本總領事館

隨時御通報相煩度シ尙貴信情報中「セミヨノフ」ト白系「バルチザン」トノ關係ニ就テハ九月四日附機密公第六四四號措信中「セ」ノ當館員ニナセル談話及「スルツキー」ノ人物ニ關シテハ八月六日附機密公第五七五號措信參照相成度右爲念申添ニ

本信寫送付先 哈爾賓

在奉天日本總領事館

032

0309

REEL No. A-0335

アジア歴史資料センター

歐米局第一課

機密公第三三一號

昭和五年九月六日

在滿洲里

領事館事務代理 豊 原 幸

外務大臣男爵 幣 原 喜 重 郎 殿



033

正 值

華經亞局

昭和五年九月拾貳日接至

海拉爾附近ニ於ケル所謂白色バルチサンニ關スル件

本件バルチサンハ客月下旬當地ヨリ支那歩兵四十三團ノ一ヶ大隊力
免渡河附近ニ、海拉爾駐在歩兵第五十一團カ海拉爾牙克石方面ニ出

034

動シテ以來海拉爾ニ接近シ居ル方面ハ稍々小康ヲ得居ルカ如キモ海
拉爾西南シネヘン。ブリヤート旗及興安嶺附近ニ於テハ出沒常ナリ
横行掠奪シ居ルモノ。如シ

本件ニ關シシネヘン。ブリヤート旗總管力當館情報者ニ談レル處ニ
依レハ

現在バルチサンハ海拉爾ヨリ八十露里西南ウイテヘン小興安嶺ノ
山間ニ本部ヲ置キ指揮官ハズイコフニシテ約五十ノ天幕ヲ有シ人
數ハ最近迄七、八十名ナリシ處シネヘン旗ノ青年ノ之ニ參加スル
モノ六十餘名ニ及ヒ現在數ハ百五十名以上ナルヘシ云々

ナル趣ナリ
右何等御参考迄報告ス

本信寫送付先

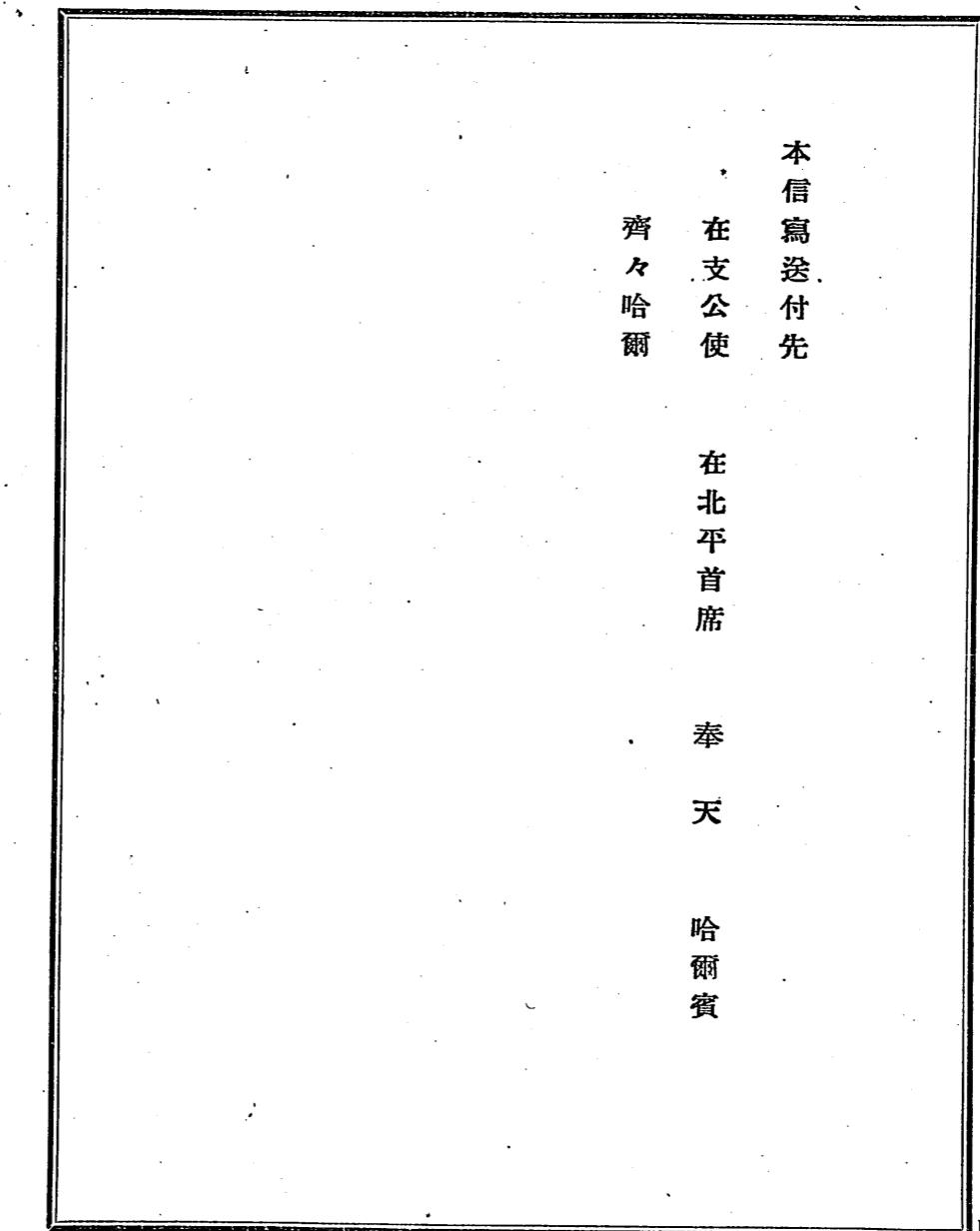
在支公使

在北平首席

奉天

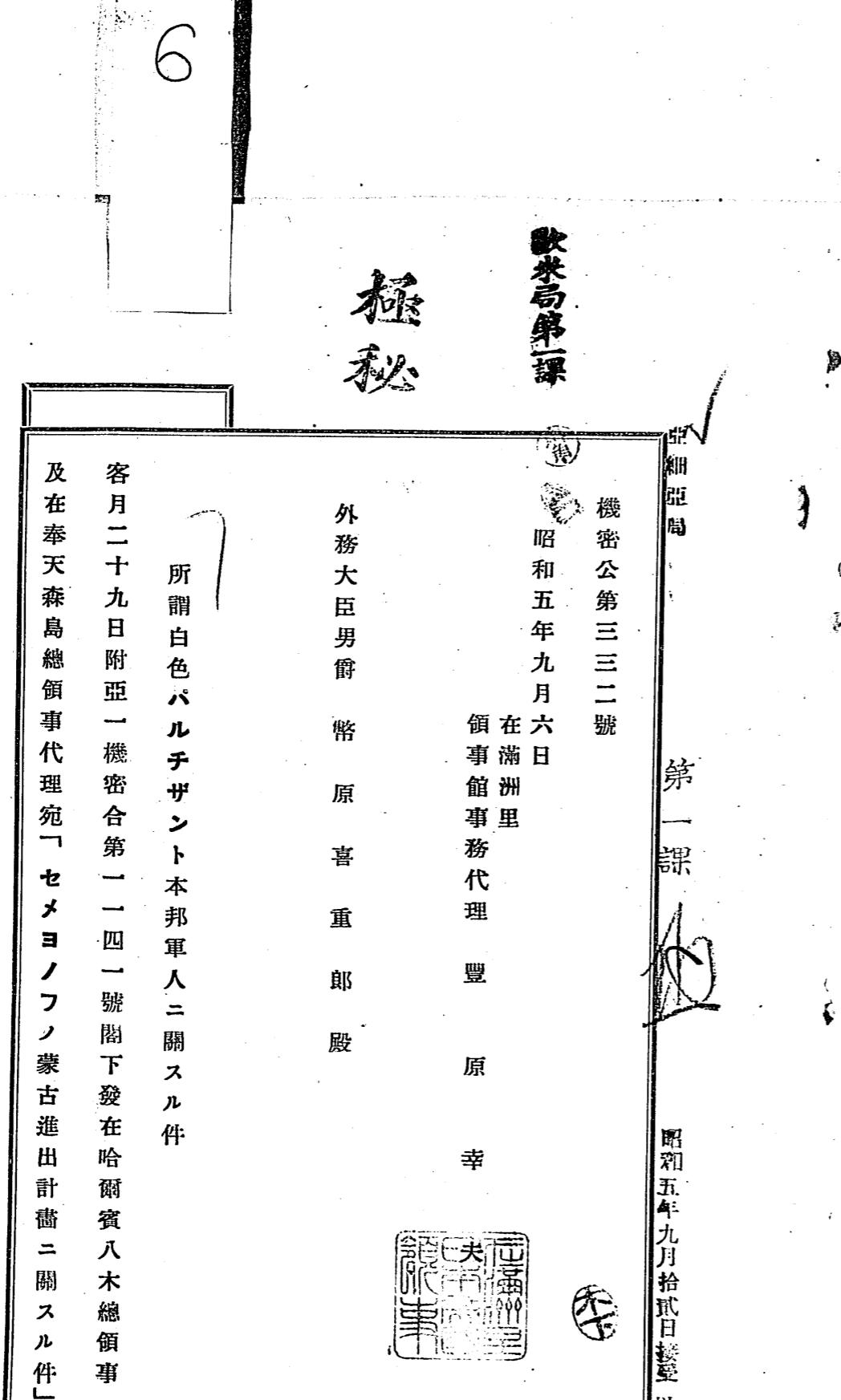
哈爾賓

齊々哈爾



BII

035



REEL No. A-0335

0369

アジア歴史資料センター

二關シ最近當地及海拉爾支那官憲ニアリテハバルチサン討伐力在薄
八ヶ月ヲ經過スルモ更ニ其ノ効ヲ奏セサル爲メバルチサンノ討伐出
來サルハ其背後ニ日本力之ヲ援助シ居リ時々秘密ニ糧食銃器彈藥等

ヲバルチサンニ給與シ居レルニ起因スルモノ、如ク密ニ宣傳シ居ル
趣ニシテバルチサンニ關スル外國人トノ談話ニハ前記ノ如キ口吻ヲ
洩シ居レル由ナリ殊ニ當地ニ駐在セル關東軍派遣員上田大尉ノ動靜
ニ對シテハ同大尉力海拉爾ニテセメヨノフノ舊部下タリシタブハ
エフ（ブリヤート人ニシテ舊帝政時代將軍タリシト稱セラル）ナル

モノヲ情報者トシテ使用シ海拉爾ニ赴ク毎ニタト面接スルノ事實ア
ルヲ知リ同大尉モ本件關係者ナル力如クニ思料セルモノカ嚴ニ監視
シ居ル模様ナリ又本年六月以降參謀本部關東軍等ヨリノ派遣軍人力

當地ヲ訪問スルモノ多キニ關シテモ支那官憲ハ本件ト關聯セシメ相
當神經ヲ尖ラシ居レリ
右何等御参考迄報告ス

本信寫送付先

奉天

哈爾賓

齊々哈爾

アリスル在右院ノ送付文
（新海、新之助、東麗第十七号修ムノ通官事 一部附は一平）

乙 號 ④

040

文書課長	昭和五年九月八日	發送	正(原稿)	(甲號用紙)
主 管	亞細亞局長	任 亞細亞第一課	昭和五年九月五日	淨書
郵 機密	三五七六號	大正年月	附屬書	通
公 信 案	本邦	昭和五年九月六日	發 信	四一境
件 名	セメヨーフ、一蒙古進出	名 达 級	有田亞細亞局長	正(原稿)
受 信	参謀本部	人 名	有田亞細亞局長	淨書
人 名	建川次二郎長			

6

18

039

四一境

REEL No. A-0335

0312

アジア歴史資料センター

編者附言
原稿
イムノス
協定於此バニシ
幽静着筆
在

記念
セミナー
開催
記念
セミナー
開催

不要範

昭和九 一三六六五 暗 哈爾賓 本省 九月十六日後發 亞

幣原外務大臣

八木總領事

第二三三號

當地駐在澤田大佐カ滿洲里駐在武官ヨリ入手セル情報トシテ本官ニ
内話セル所ニ依レハ松井豫備中佐ハ「セメヨーノフ」系「バルチザ
ン」軍カ九月十日頃「ソロン」ニ集合シ目下「ガンジユール」廟定
期中ノ開催中ナルヲ機會トシテ外蒙「サンベイツ」市ヲ襲ハムト計
畫中ナルヲ聞キ右實行ヲ阻止スル爲「ハイラル」ヨリ同方面ニ急行
セル趣ナリ

外務省

(公文 42.2.9.6/R/)

5.8

041

甲七

外務省

秘

陸 同 文

昭和五、九、一、九、

九、一、八、後

四、一、三、

四、五、

著

發

閣 第 二 一 號 (其一)

參 謂 次 長 宛

閣 東 軍 參 謂 長

スルツキ一カ遇日哈市ヨリ奉天ニ歸リ憲兵ニ詰ル處左
如シ

現在セメヨノフ、直接指揮ニ活勸スルバルキサンハ後貝加爾ニ二隊ニ河ニ一隊蒙古ニ二隊總兵員約千三百名ニシテセメヨノフニ連絡ヲ有ヘルモハ蘇城及ホクラ方面ニ二隊約八百名アリ此等ハ何レモ支那軍小部隊ヲ夜襲シ歩兵腕同彈薬ヲ掠奪シ全員武裝シ居レリセメヨノフト蒙古軍トノ提携ハ最近著シ進捲シ九月上旬ハリコフラ長トスルバルキサンレ部

隊一隊三百五十名(騎馬各目小銃一同彈薬百機関銃七両有ス)ハ内蒙軍ト提携シ洮南ニ根據ヲ有スル支那軍隊ヲ襲撃シ步兵、彈薬ヲ掠奪スル為索倫ニ到リ同地ニ於テ準備ヲ整ヘ洮南ヲ襲撃數干人シ劃策シアリ成功セハ直ニ在北滿セメヨノフ關係ノ首領ハ部下ヲ糾合シ約五千名ノ武裝團ヲ編成シ蒙古、統一ニ從事スル筈ナリト
哈市電第一五號ニ鑑ニ「ペルチサン」蒙古方面襲撃目標ハ莫ルモ何等カ企圖ヲ有スルハ明カナル可シ

奉天 哈市 二三

8

トスル計畫アリト稱セラレタルモ右ノ内蒙馬賊ハ二三十名ノモノニ
過キス又「バ」ハ「ガンジル」廟ヲ襲撃シ蒙古人ノ人氣ヲ落スカ如
キコトヲ避ケ興安嶺ヲ越ヘテ東南方面ニ趣カムトスルモノノ如シ云々^(公報 12.5.18)
委細公信

北平、上海、奉天、哈爾賓へ轉電シ齊齊哈爾へ暗送セリ

編者附言
4.11.12
地圖於此卷之
動靜千萬無事
（在）

昭和5 一三八八五 暗 哈爾賓

本省 九月廿日後發

八木總領事

（赤格紙）ト

幣原外務大臣

第二三五號

滿洲里發本官宛電報

第八二號

大臣へ轉電アリタシ

第四七號

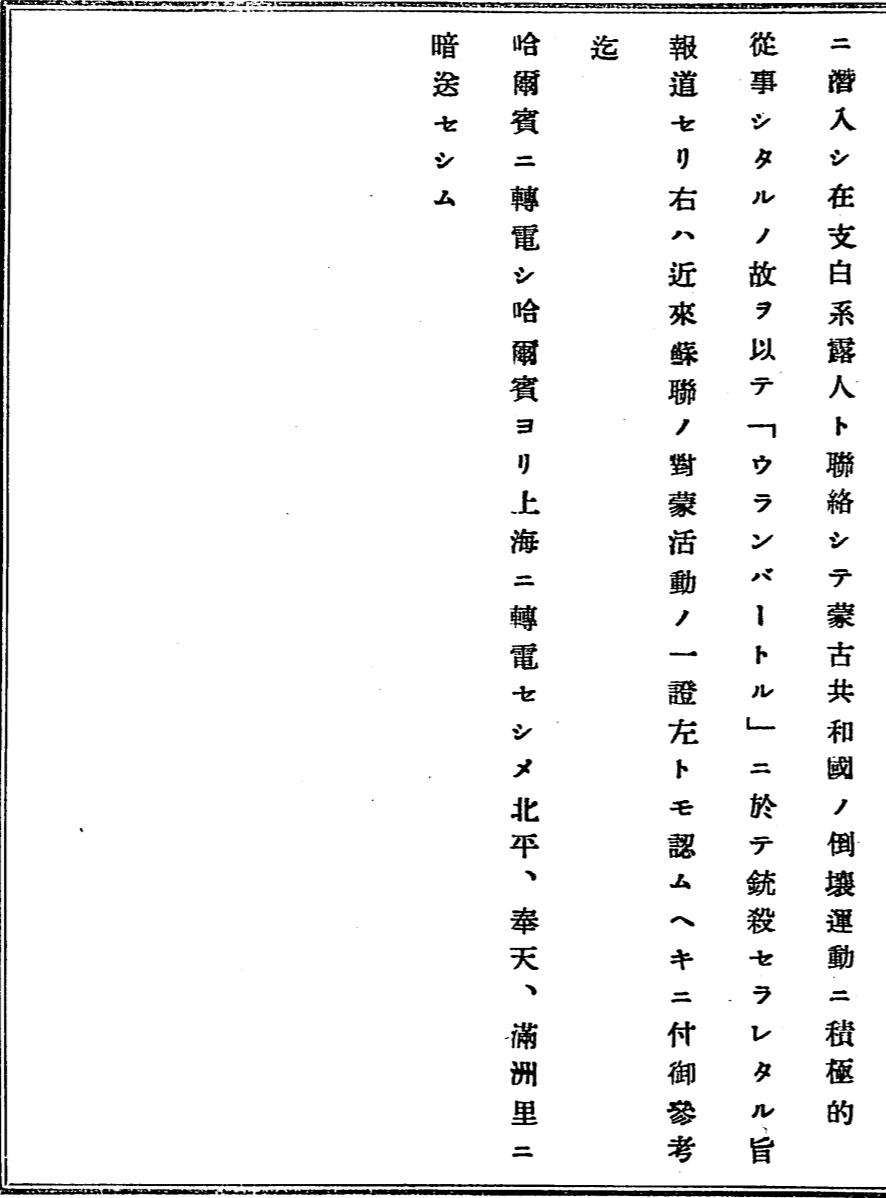
八木總領事發閣下宛電報第二三三號ニ關シ

問題ノ松井豫備中佐ハ十五日夜「ハイラル」郊外蒙古部落ヨリ歸海
シタルカ松井カ當館諜報者ニ語ル處左ノ通

「バルチザン」ハ内蒙馬賊ト提携シ「ガンジル」廟定期市ヲ襲ハム

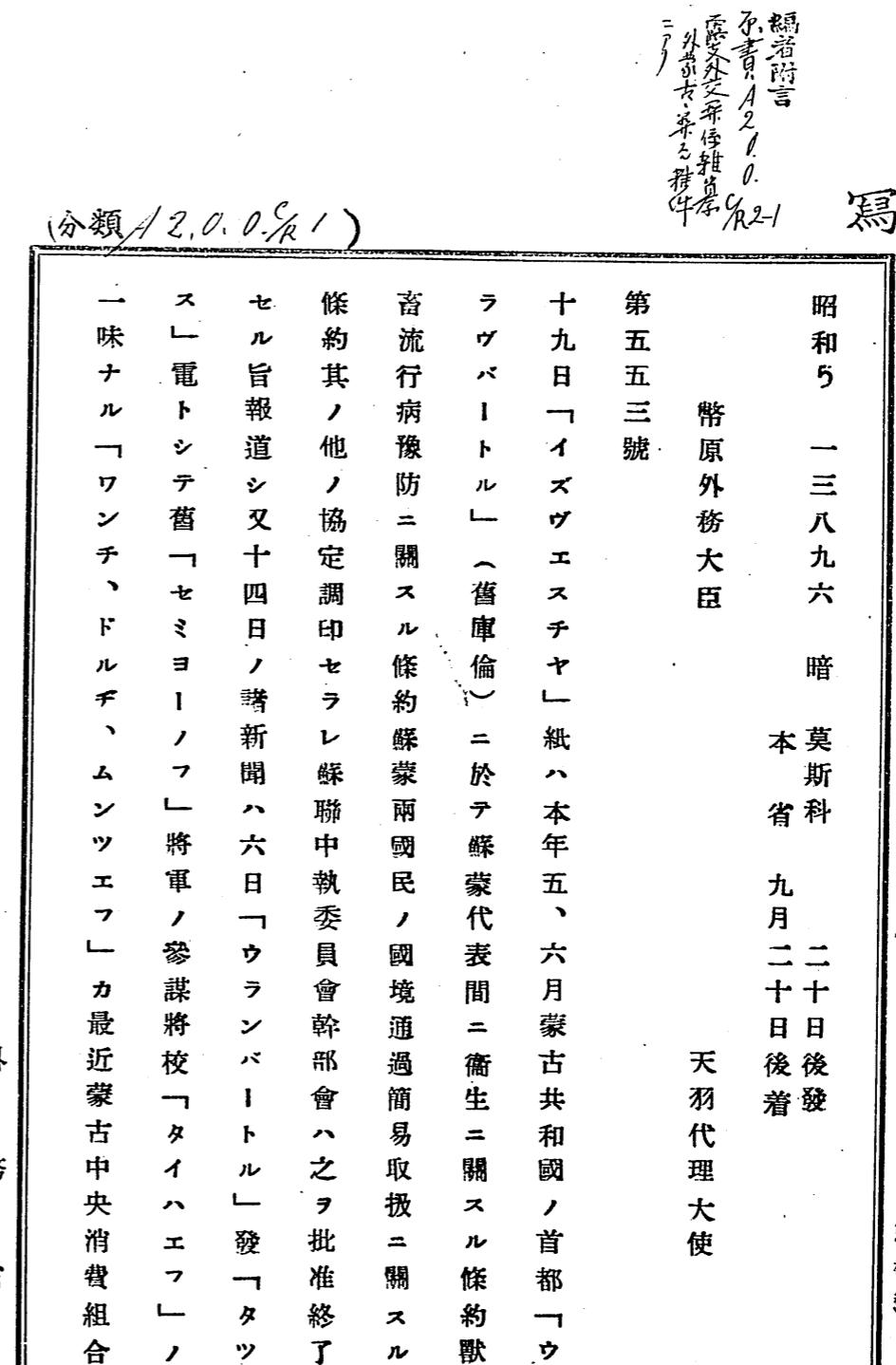
REEL No. A-0335

外務省



5.8

046



5.8

045

0315

アジア歴史資料センター

四七

外務省

陸同文

昭和五、一〇、二
一〇、一、后
四、五、四著

參謀次長宛

奉天鈴木少將

奉第一九九號

昨三十日自露人スルツキ一爻トルトニアリン 束リヨク
セニヨノフ部下ノ反赤バルチザン團ハ海拉爾南方
ヨリ索倫方面ニ出テ索倫、支那軍ヲ奇襲シトセレモ
兵力、武器不足ニシテ勝算ナカリシ爲メ索倫北方地區
ニ分在シアリ寒氣ト共ニ被服、糧食缺乏シ困リアリト。
日本側ヨリ兵器、彈薬ノ供給方ノ依頼セルモ當方ハニ
笑ニ附シ去レリ、彼等ハ少數ナル支那軍の駐屯地ヲ襲
ヒテ其兵器彈薬ヲ奪フヨリ外誣方ナキ情態ニアル
モノ、如ク尙ホ之ニハ「アリヤード」人蒙古人モ加ハリ内

関東、哈市ス

次官
大正十九年

機密第三十七號

第一課

昭和五年十月六日

在滿洲里

領事館事務代理 豊原幸太郎



外務大臣男爵幣原喜重郎殿

當地關東軍派遣員、行動=關スル件

當地駐在關東軍派遣員上田大尉、行動=關シテ
八全大尉カ元「セミヨノフ」ノ部下タリシ海拉爾在住

「タガタエイフ」ナルモノヲ情報者トニテ使ヒ居ルタメ

「バルチザン」問題ニ關シ支那則ヨリ猜疑、眼ヲ以
テ注視セラレ居ルコトニ關シテハ既報セル通ナル處
其後全大尉ハ上司ヨリノ命令ナリト稱シ情報蒐
集ノタメニ焦慮シ呼倫貝爾内地旅行=赴カニトシ
再三本官ヲ來訪シ特ニ旅行許可取付方願出アリタ
ルカ本官ハ當地方ハ目下「バルチサン」跋扈、折柄外
人ノ旅行ヲ停止シ居レルトハルチザント本邦人トカ
何等關係セルカ如ク支那側並ニ露側ニ猜疑ノ念
ヲ抱カシムル惧ナキヤラ慮リ其都度全官ノ旅行ヲ
勸阻シ置キタリ、然ル處全大尉ハ客月上旬及客月
下旬ノ二回ニ亘リ當館ニ無断ニテ當地在留本邦人
兩三名ヲ帶同シ蒙旗地方ノ旅行ヲ試ミ第一回目ハ
支那軍隊並警察ニ發見セラレ阻止セラレタルタメ

049

048

REEL No. A-0335

アジア歴史資料センター

當地ニ引返シ第二回目ニハ支那軍憲ニ發見セラレ
宜立堯都駐在支那軍隊ハハト聯絡アリト稱ニ
討伐ニ赴カントニタルモ之ヲ察知セル机免採木公
司支那^配人ハ木象次郎(元陸軍將校)、調停ニヨリ
無事歸來スルヲ得タルニ支那側ニ於テハ今大尉
行動ニ對ニ相當神経過放トナリ當地ニハ本件
ニ關聯シ一部住民ノ間ニハ日本ノ參加スル關戰説
スラ流布セラレ居ルトノ風説ヲ耳ニシタル次第モアル
ニ付本官ハ居留民ノ旅行ニ際シテハ館舎ニ從ヒ
ス當館^沙届出セシムルコトトシ再今本件ノ如キ事
態ヲ發生セシメサル様注意シ置ケリ
右報告ス。

CHI

△050